

IR・情報化推進室

データの収集と活動の取り組み事例

各種教務データ、入学試験結果、学生サポート活動などの情報を集約し、積極的に利活用しています。

1) データ分析と検証

以下の調査・分析を行っています。

- ①入試情報分析
- ②学修行動調査
- ③GPA とカリキュラムマップによる学修成果5つの力の可視化
- ④アセスメントテストによる学生のジェネリックスキル評価と成長分析
- ⑤卒業生調査
- ⑥就職先調査

2) IR データベースの構築と利活用促進

上記データの一部を集約した IR データベースを構築しました。現在、その有効な利活用促進により、本学の教育の質の向上に寄与できるよう、議論、検討を行っています。

3) 教育課程の改善のための提言と行動事例

上記のデータ分析と検証から教育課程の改善のために提言を毎年行っています。学長のリーダーシップの下、各部門が改善に向けた具体策を検討し、PDCA サイクルを回す好循環を作っています。

提言を受けた、学科における取り組みとして、以下のような行動事例があります。

例①) 卒業生調査より、社会に出てからは、特にプレゼンテーション能力が求められていることが確認され、授業における発表の機会を増やす検討を行った。また、在学中に文章表現能力があまり身につけられなかったという指摘を受け、ある学科では、初年次教育の中で、小論文作成の単元を新たに設け、書く力の強化に取り組んだ。

例②) 学修行動調査からは、卒業年次の「教職員サポート利用」が高かったが、入学時から丁寧な学生対応を行うべきことを改めて認識し、学生とのコミュニケーションを早期に深めるための意識づけを行った。

例③) アセスメントテストの成長分析から、在学してからのリテラシーが低下傾向にあることを踏まえ、ビジネスキャリア学科では、初年次教育の中で行う基礎力養成のためのドリルの実施時間を大幅に増加させた。

4) 情報公開

適宜、情報公開ページで調査報告の公開及び大学ポートレートによる本学情報の発信を行っています。

以上